

## 第6次総合計画策定に係る【観光業】産業別若者懇談会 会議記録（要旨）

### 開催日・出席者等

---

開催日時 令和2年10月19日（月） 19時00分から20時00分まで  
場 所 文化センター 3階ホール  
出席者 町民6名 （別添参加者名簿のとおり）  
竹節町長、観光商工課長、観光商工係長、総務課長、企画係長、企画係員  
（株）地域総合計画

### 協議状況（説明・懇談事項）

---

#### ○ 進行（総務課長）

##### 1 開会（総務課長）

##### 2 挨拶（町長）

##### 3 第6次山ノ内町総合計画について（企画係員）

#### 懇 談

【発言】 懇談会参加者意見

【回答】 役場出席者意見

#### 【意見1】

現在、志賀高原はお客さんが減っておりまして、どうしたら山ノ内は良くなるかということをお勉強に來ました。皆さんの意見を聞きたいと思っています。

個人的な意見としては、もっと外国人に來て欲しいと思っている。外国人が移住してくれるような環境づくりをしていけたらとも思っている。子どもが遠くに出たいと言ったら行かせる親が多いと思うが、どうしたらまた帰ってきてくれるのかを考えていかななくてはと思う。

#### 【回答1】

観光客が減っている現状を受けて、外国人の視点が必要ではないかということですが、やはり国全体の生産人口が減少している中で、外国人が日本に來てもらって消費してもらいたいということ。また、日本の人口自体が少なくなっていますので一緒に働いてもらうということが今後も必要であり、町としても推進していく必要があると思っている。コロナ禍で当面インバウンドの回復はしないと言われてるので、日本全体の中でインバウンドが占めるのは2割程度という中で当面は日本人が主となると思うが、インバウンドが來

られないから何もしないということではなくて、日本に行きたがっている外国人は非常に多いと考えているので、情報発信を止めずに今こそ外国人へのプロモーションしていくべきだと思っている。受入環境整備としては志賀高原の中でも多言語看板が非常に少ないので、遊歩道の看板を調査して、国の補助を受けながら日本語と英語の併記に変えることを5か年計画で考えて進めていく。また、外国人の利便性向上ということで、Wi-Fiの整備も進めていく。

#### 【回答1-1-2】

外国や日本の皆様にお越しいただくため、志賀高原の外国人の夕食難民という中で、リゾート開発さんに今回ご協力いただいている大勝軒もそうだが、観光地の問題を解消していくための施策を徐々にやっている。町が先頭に立ってやる部分はもちろん必要だが、地域の皆様と一緒にやっていただくということ、また、地域の皆さんが望む形を皆で話し合っ出しながらやっていくことが今一番必要かと思う。今いただいた意見のようなことをご提案いただきながら動いていければと思っている。

#### 【回答1-1-3】

子供が戻ってこないということについて、山ノ内町は観光と農業を主に発展してきておりますし、これからもおそらく産業構造が大きく変わることはないと思っている。観光客が大勢来ることによって観光業が盛んになるし住む人も多くなるというのが普通だが、なかなかそこがうまくいっていないと感じている。山ノ内町に足りないところは色々あると思う。中野市へ出ていく方が多いというのは、交通、医療、住宅、工場、その他いろいろな面で山ノ内町には不足している部分がある、というのが事実だと思う。ただ、そこを競争してどうにかするというよりも、むしろ山ノ内町の強みである観光・農業を進めていって、例えば中野市さんに勤めるにしても住宅環境、自然環境といったものが良ければ、山ノ内町に住んで、中野市に通うということも十分想定される。そちらの方に重点を置いて施策を展開していった方が、山ノ内町としては良いのでは考えている。産業の振興や生活の充実を中心に行い、現状足りない懇談会でも指摘されている住宅環境の問題等については充実をはかっていくという考えで計画をしているところ。

#### 【回答1-1-4】

お子さんに戻ってきてもらって人口を減らしたくないという部分があって、私の同級生でも中野や須坂、長野に勤めていて、そっちに住んだ方が楽だという人はたくさんいる。将来、長野に戻ってきて、職場は長野だけど山ノ内町に住みたいと思えるような郷土愛の醸成というか、戻ってこようと思ってもらえるような教育を受けたり生活を送っていく中で、何十年後かに戻ってきて欲しいと思っている。懇談会にご出席いただいた校長先生から、学校では山ノ内の素晴らしさを勉強していると言っていた。子どもの社会はすごく狭くて、一番最初の身近な最小範囲は家庭だと思う。ですから、家庭の中でぜひ、山ノ内っていいよねという生活を送っていただいて、じゃあ帰ろうかと思ってもらえるような大人に育ててほしいと思っている。生活するための基盤が重要だと現実問題として理解

しているが、理想を言わせていただく。

**【意見2】**

もっと公園をつくってほしい。町内どこでも公園があるといいと思う。子育て支援策にも色々あると思うが、気軽に行けるような公園があるといいと感じている。

**【回答2】**

皆さんの使い勝手というとはともいえないが、町にはいくつか公園がある。新たな公園という色々な問題があるが、町で今後へ向けて計画しているのが、社会体育館を解体し防災機能を持ったみろく児童公園の拡張ということを考えていきたいということで、実施計画に盛り込んでいる。公園の拡張整備ということで、これから順次詰めていきたいと考えている。

**【回答2-1-2】**

子育ての関係では、妊娠から出産子育て保育園まで切れ目のない支援ということで取り組んでいますが、せっかくやっても町民の皆さんから知らないと言われる。包括支援センター等切れ目なく母子ともに見ていく取り組みを推進しているので、その辺の情報発信は総務課で強化していきたいと考えている。

**【回答2-1-3】**

町のホームページや広報でも、町の補助・支援制度のお知らせをしていきたいと思っているので、ご覧いただきたい。

**【回答2-1-4】**

やまびこ広場に関しては、子育て、子どもの遊び場的なことで、遊具とか親水広場に噴水、川遊びができるようなものに着手したり、スラックラインも楽しめるように、今年はオープンできなかったですがバーベキューのできるようなものも整備していきたい。今後も利用者や小中学生にどんなものが欲しいか聞き取ったうえで、順次整備を進めていきたいと考えている。

4 その他（企画係長）

5 閉会（総務課長）

以上